

## 大平 滋先生略年譜・主要記録

### 【略 歴】

- 昭和48年4月 早稲田大学教育学部教育学科社会教育専修 入学  
昭和52年3月 早稲田大学教育学部教育学科社会教育専修 卒業  
昭和52年4月 東京学芸大学教育研究科学校教育専攻教育史第一講座 入学  
昭和54年3月 東京学芸大学教育研究科学校教育専攻教育史第一講座 修了  
昭和54年4月 早稲田大学文学研究科教育学専攻博士後期課程 入学  
昭和57年3月 早稲田大学文学研究科教育学専攻博士後期課程 研究指導修了  
昭和60年3月 早稲田大学文学研究科教育学専攻博士後期課程 単位取得満期退学

### 【学 位】

- 昭和52年3月15日 学士（教育学）早稲田大学教育学部  
「生涯教育における一考察—教育制度の原理としての生涯教育—」  
昭和54年3月20日 修士（教育学）東京学芸大学教育研究科  
「大正期の青年教育—青年団、実業補習学校、青年訓練所を中心として—」

### 【職 歴】

- 昭和54年4月～昭和60年3月 江戸川学園豊四季専門学校社会教育実務科講師  
昭和60年4月～昭和63年3月 浜松短期大学幼児教育科 講師  
昭和60年4月～平成3年3月 浜松市立看護専門学校 非常勤講師  
昭和60年4月～平成3年3月 静岡県厚生連看護専門学校 非常勤講師  
昭和63年4月～平成6年3月 浜松短期大学幼児教育科 助教授  
平成4年4月～平成11年3月 早稲田大学教育学部 非常勤講師  
平成4年4月～平成13年3月 静岡大学工学部 非常勤講師  
平成6年4月～平成16年3月 浜松短期大学幼児教育科 教授  
平成9年4月～平成11年9月 静岡県立大学短期大学部 非常勤講師  
平成11年4月～平成15年9月 浜松市立看護専門学校 非常勤講師  
平成12年4月～平成15年9月 静岡医療科学専門学校 非常勤講師  
平成12年4月～平成15年9月 静岡県厚生連看護専門学校 非常勤講師  
平成16年4月～現在に至る 立正大学社会福祉学部 教授  
平成18年4月～平成28年3月 立正大学大学院社会福祉研究科修士課程社会福祉専攻教授  
平成20年4月～現在に至る 立正大学大学院社会福祉研究科博士後期課程 教授  
平成28年4月1日～現在に至る 立正大学大学院社会福祉研究科修士課程教育福祉専攻教授

平成25年4月～平成29年3月 立正大学社会福祉学部子ども教育福祉学科主任  
現職 立正大学社会福祉学部教授・同大学院社会福祉研究科教授

### 【免許・資格】

昭和52年3月 高等学校教諭二級普通免許状（社会）  
昭和52年3月 中学校教諭一級普通免許状（社会）  
平成15年8月 大学設置審議会審査 浜松学院大学 教授合格（教育学，レクリエーション，  
教育社会学）  
平成22年12月 教職課程認定審査合格（初等教育教諭一種免許状）立正大学，社会福祉学部人  
間福祉学科

### 【学 会】

昭和53年6月～現在に至る 日本社会教育学会会員  
昭和56年4月～現在に至る 日本教育学会会員  
昭和62年4月～現在に至る 日本レジャー・レクリエーション学会会員  
平成5年10月～現在に至る 日本教育社会学会会員  
平成5年10月～平成27年7月 日本教育メディア学会会員  
平成7年6月～平成23年6月 日本子ども社会学会会員  
平成16年4月～現在に至る 立正大学社会福祉学会会員

### 【社会における主な活動】

平成1年4月～平成4年5月 日本レクリエーション協会Ⅱ類校幹事  
平成2年6月～平成3月5月 日本教育職員組合学校五日制研究協力者会議委員  
平成2年12月～現在に至る 日本教育職員組合全国教育研究大会共同研究者  
平成6年4月～平成23年3月 静岡県教育職員組合立教育研究所共同研究者  
平成12年4月～平成13年3月 日本教育職員組合教育課程改革委員会委員  
平成12年4月～平成13年9月 国民教育文化総合研究所部活動問題研究会委員長  
平成12年4月～平成24年3月 兵庫教育文化研究所共同研究者  
平成16年12月～令和2年6月 子どもの権利条約総合研究所，理事，運営委員，査読委員  
平成17年4月～平成18年6月 国民教育文化総合研究所教職員指導力不足研究会委員  
平成20年4月～平成22年1月 東松山きらめき大学院講師  
平成22年4月～平成23年3月 訪問研究員（奨学生）アメリカ合衆国，カリフォルニア州立大  
学ロサンゼルス校（UCLA）  
平成27年4月～現在に至る 立正大学デリバリーカレッジ講師

## 【研究業績】

### 〈著書〉

- 「特別活動」『2017年 検証 新学習指導要領—ゆたかな学びの創造に向け—』平成30年3月  
(共著) アドバンテージサーバー, pp.76-79 (4ページ)
- 「第2部, 第3章 まちづくり, 地域活動, NPO活動における関係性とネットワーク研究」  
(共著) 早稲田大学自己教育研究会編『自己教育へのまなざし』平成22年2月, 成文堂 全  
307頁。179-191 (13ページ)
- 「第31条休暇・余暇・遊び・文化的・芸術的生活への参加」(共著) 子どもの権利条約研究所編  
『[逐条解説] 子どもの権利条約』平成21年12月, 日本評論社, pp.187-192 (6ページ)
- 「第19章 福祉文化に根ざした社会づくり, 学校づくり」(共著) 立正大学社会福祉学部編『福  
祉文化の創造—福祉学の思想と現代的課題』平成17年10月 ミネルヴァ書房 全355頁。  
pp.255-266 (12ページ)
- 「第4部, 第3章 生涯学習社会におけるスポーツ環境の育成について—文化としてのスポー  
ツと楽しむスポーツをどう育てるか—」(共著) 大槻宏樹研究室編『社会教育の杜』平成15  
年3月, 成文堂, 全344頁。pp.262-275 (14ページ)
- 「第5部, 部活動問題研究委員会報告 21世紀の生涯文化・スポーツのあり方を求めて—部活  
動の地域社会への移行」(共著・部活動問題研究委員会委員長)『教育総研年報 2001』平  
成13年12月, アドバンテージサーバー 全224頁。185, 188, pp.200-202, pp.210-215,  
pp.223-224 (13ページ)
- 新学習指導要領「特別活動」『中学校編 ここが問題。さてどうする。—21世紀カリキュラムづ  
くりへの道しるべ—』平成12年8月 アドバンテージサーバー pp.151-166 (15ページ)
- 「第3部第4章 学校外活動・教育と学校5日制」(共著) 海老原治善編著『学校5日制読本』  
平成3年12月, エイデル研究所, pp.97-108 (12ページ)
- 「第2章 2節 現代社会とレクリエーション」(共著) 日本レクリエーション協会編『レクリ  
エーション概論』平成2年4月, (財)日本レクリエーション協会 pp.33-43 (11ページ)
- 「第7章 子どもの成長と教育 I 乳幼児期 第8章 子どもの成長と教育 II 児童期 (共  
著) 村山貞雄編『教育原理』昭和62年3月 学術図書出版社 pp.63-80 (18ページ)
- 「第1部 戦前の青年教育」(共著) 大槻宏樹編著『社会教育史と主体形成』昭和57年8月 成  
文堂, 全281頁。pp.83-118 (35ページ)
- 「第5章 戦後自己教育論の展開」(共著) 大槻宏樹編著『自己教育論の系譜と構造—近代社会  
教育史—』昭和56年4月 早稲田大学出版部 pp.114-138 (25ページ)

## 【学術論文】

- 「生涯学習における『成人力』とヒューマン・キャピタルの育成」(単著) 令和2年3月『人間  
の福祉 (立正大学社会福祉学部紀要)』第34号, pp.1-18 (18ページ)

- 【査読付】「新教育課程における教育観と教育のあり方について―「特別活動」を中心に―」平成30年2月 立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第32号 pp.127-139 (12ページ)
- 「人口減少期を迎えての熊谷市のまちづくりと課題―生涯学習社会におけるまちづくり―」平成29年2月 立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第31号 pp.19-28 (19ページ)
- 【査読付】「新潟県長岡市のまちづくりと次世代育成計画のあり方―社会の変化にともなう『まちづくり』研究(2)」平成27年1月 立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第29号 pp.29-48 (19ページ)
- 【査読付】「地域社会の変化に伴ったまちづくりと新たな学校教育の展開―新潟県十日町市の事例をとおして―」平成26年1月 立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第28号 pp.49-65 (17ページ)
- 【査読付】「社会の変化と地域再生の視点―社会の変化にともなう『まちづくり』研究1―」平成25年1月 立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第27号 pp.1-15 (15ページ)
- 【査読付】「アメリカにおける学校、家族、地域のパートナーシップ研究とPTA活動におけるパートナーシップの事例研究」平成23年9月 立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第26号 pp.15-24 (10ページ)
- 「学校五日制の実現と遊びの権利保障について」平成19年2月 子どもの権利条約総合研究所『子どもの権利研究』第10号 pp.84-93 (10ページ)
- 「混迷する日本の教育改革と『学び』の創造に根ざした教育実践の展開について」平成17年3月 立正大学社会福祉学部紀要『人間の福祉』第17号 pp.123-138 (16ページ)
- 「1980年以降のメディア化社会の進展と学校教育、若者文化のあり方―戦後日本のメディアと教育・文化の変遷(2)―」平成15年9月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第59号 pp.107-133 (27ページ)
- 「高度成長期のメディアのあり方と学校、若者文化について―戦後日本のメディアと教育・文化の変遷(1)―」平成14年9月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第58号 157-177 (21ページ)
- 「『開かれた学校』づくりからまちづくりへ―生涯学習社会の学校研究(3)」平成12年12月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第56号 pp.125-144 (19ページ)
- 「部活動から総合型地域クラブへの展開について―生涯学習社会の学校研究(2)」平成11年12月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第55号 pp.23-50 (27ページ)
- 「部活動と『特別活動』のあり方について―生涯学習社会の学校研究(1)―」平成10年12月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第54号 pp.1-16 (16ページ)
- 「学校クラブと地域クラブネットワークのあり方―子どものための『社会教育』環境の研究(1)―」平成7年12月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第50号 pp.137-160 (23ページ)
- 「学校5日制にともなう『特別活動』のあり方―必要とされる自治的諸活動と学校行事、部活

- 動のあり方」平成6年12月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第48号 pp.75-92 (17ページ)
- 「メディア教育のあり方と可能性」平成5年11月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第46号 pp.201-225 (24ページ)
- 「教育改革としての『学校週5日制』と生涯学習社会—人材教育論から人間教育へ—」平成4年12月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第45号 pp.21-56 (35ページ)
- 「青少年の社会教育活動の実態について—社会教育関係者へのアンケート調査を中心に—平成3年7月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第42号 pp.47-65 (18ページ)
- 「学校5日制と『学校外教育』について—『学校外教育』における学習内容と指導方法に関する研究(2)—」平成2年12月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第41号 pp.93-116 (23ページ)
- 「野外活動・野外教育の理論と実態—『学校外教育』における学習内容と指導方法に関する研究(1)—」平成2年7月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第40号 pp.15-43 (28ページ)
- 「『学校外教育』の実態と課題—浜松市を事例として—」平成1年7月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第38号 pp.54-80 (26ページ)
- 「子どもの生活と遊びの実態と人間関係・生活技能の形成について—浜松の子どもたち—」昭和63年12月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第37号 pp.57-134 (77ページ)
- 【査読付】「子どもの遊びの実態について」昭和63年8月 日本レクリエーション学会『レクリエーション研究』第19号 pp.6-13 (8ページ)
- 「子どもの遊び研究(1)—子どもの発達保障と遊び—」昭和62年12月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第35号 pp.185-216 (31ページ)
- 「児童観と子育て・保育について」昭和62年7月 浜松短期大学『浜松短期大学研究論集』第34号 pp.31-76 (45ページ)
- 【査読付】「地域における青年教育研究—埼玉県潮止自治学校の変遷を中心に—」昭和60年6月 日本社会教育学会『日本社会教育学会紀要』第21号 pp.49-59 (11ページ)
- 「戦前の青年教育体制確立と高等小学校」昭和60年3月 早稲田大学 早稲田大学哲学会『philosophia』第72号 pp.91-105 (15ページ)
- 「共同学習論と自己教育」昭和58年3月 早稲田大学大学院文学研究科『早稲田大学大学院文学研究科紀要』別冊第9集 創立百周年記念号 pp.87-95 (9ページ)
- 「青年団と補習教育—青年団補習教育の実際を中心に—」昭和56年3月 早稲田大学大学院文学研究科『早稲田大学大学院文学研究科紀要』別冊第7集 pp.37-47 (11ページ)

#### 【報告書】

熊谷市子どもの生活実態・成育環境づくり(まちづくり)調査 代表

「熊谷市小中学生保護者の子育て環境に対する認識と生涯学習社会のまちづくりについて」平成30年2月 立正大学社会福祉研究所『立正大学社会福祉研究所年報』第20号 pp.45-60 (15ページ)

熊谷市子どもの生活実態・成育環境づくり（まちづくり）調査 代表

「生涯学習社会における子育て世代が求めるまちづくりの現状認識と課題—熊谷市を中心に—」平成29年3月 立正大学社会福祉研究所『立正大学社会福祉研究所年報』第19号 pp.163-173 (11ページ)

日本教職員組合第72次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」令和5年『日本の教育』第72集, アドバンテージサーバー, pp.157-158

日本教職員組合第71次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」令和4年8月『日本の教育』第71集, アドバンテージサーバー, pp.159-160

日本教職員組合第67次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成30年5月『日本の教育』第67集, アドバンテージサーバー

日本教職員組合第66次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成29年5月『日本の教育』第66集, アドバンテージサーバー, pp.170-172 (3ページ)

日本教職員組合第65次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成28年5月『日本の教育』第65集, アドバンテージサーバー, pp.174-176 (3ページ)

日本教職員組合第64次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成27年5月『日本の教育』第64集, アドバンテージサーバー, pp.178-180 (3ページ)

日本教職員組合第62次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成25年6月『日本の教育』第62集, アドバンテージサーバー pp.174-176 (3ページ)

日本教職員組合第59次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成22年6月『日本の教育』第59集, アドバンテージサーバー, pp.166-167 (2ページ)

日本教職員組合第58次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成21年7月『日本の教育』第58集, アドバンテージサーバー, pp.164-166 (3ページ)

日本教職員組合第57次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成20年8月『日本の教育』第57集, アドバンテージサーバー, pp.154-155 (2ページ)

日本教職員組合第56次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成19年8月『日本の教育』第56集, アドバンテージサーバー, pp.153-155 (3ページ)

日本教職員組合第55次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成18年8月『日本の教育』第55集, アドバンテージサーバー, pp.233-235 (3ページ)

日本教職員組合第54次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成17年8月『日本の教育』第54集, アドバンテージサーバー, pp.268-271 (4ページ)

日本教職員組合第53次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成16年7月『日本の教育』第53集, アドバンテージサーバー, pp.352-353 (2ページ)

- 日本教職員組合第52次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成15年7月『日本の教育』第52集, アドバンテージサーバー, pp.252-253 pp.258-259 (4 ページ)
- 日本教職員組合第51次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成14年8月『日本の教育』第51集, 一橋書房, pp.224-225 pp.239-240 (4 ページ)
- 日本教職員組合第48次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成11年8月『日本の教育』第48集, 一橋書房, pp.226-229 (4 ページ)
- 日本教職員組合第47次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成10年7月『日本の教育』第47集, 一橋書房, pp.224-227 (4 ページ)
- 日本教職員組合第46次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成9年7月『日本の教育』第46集, 一橋書房, pp.234-237 (4 ページ)
- 日本教職員組合第45次教育研究全国集会報告「学校五日制・教育課程」平成8年7月『日本の教育』第45集, 一橋書房, pp.468-469 (2 ページ)
- 日本教職員組合第44次教育研究全国集会報告「学校五日制・教育課程」平成7年7月『日本の教育』第44集, 一橋書房, pp.466, pp.469-470 (3 ページ)
- 日本教職員組合第43次教育研究全国集会報告「学校五日制・教育課程」平成6年7月『日本の教育』第43集, 一橋書房, pp.434-435 (2 ページ)
- 日本教職員組合第40次教育研究全国集会報告「自治的諸活動と生活指導」平成3年10月『日本の教育』第40集, 一橋書房, pp.250-251, 257-261 (6 ページ)

#### 【学会発表・口頭発表】

- 「子どもの生活実態と生育環境づくり—熊谷市におけるまちづくりの課題を中心に—」平成28年11月 立正大学 第19回立正大学社会福祉学会
- 「アメリカにおける学校, 家族, 地域のパートナーシップのあり方」平成23年9月 日本女子大学 第58回日本社会教育学会
- 「国際的な教育改革の動向と日本の『学び』をとらえ直した教育実践」平成16年10月 立正大学 第7回立正大学社会福祉学会
- 「部活動の社会教育への移行の試みについて—子どものための『社会教育』環境の研究(2)」平成11年9月 早稲田大学 第46回日本社会教育学会大会
- 「地域クラブネットワークのあり方—子どものための『社会教育』環境の研究(1)」平成7年9月 社会教育学会 第42回日本社会教育学会大会
- 「『学校外教育』の実践内容と指導者の課題認識について—『学校外教育』における学習論研究(2)—」平成2年10月 社会教育学会 第37回日本社会教育学会大会
- 「学校5日制と『学校外教育』のあり方について—社会教育関係者に対する意識調査を中心に—」平成2年8月 九州大学 第49回日本教育学会大会
- 「『学校外教育』の学習内容・方法としての野外教育について—『学校外教育』における学習論

- 研究(1)一」平成1年10月 神奈川大学 第36回日本社会教育学会大会
- 「子どもの生活と学校外教育の実態」昭和63年10月 九州大学 第35回日本社会教育学会大会
- 「子どもの生活実態と人間関係・生活技能の形成について」昭和63年9月名古屋大学 第47回日本教育学会大会
- 「子どもの遊びの実態について」昭和63年8月 函館市 第18回日本レクリエーション学会大会
- 「戦前の一農村における青年教育―潮止自治学校の変遷を中心に―」昭和59年8月 甲南女子大学 第43回日本教育学会大会
- 「自己教育の研究(その3)―共同学習論を中心に―」昭和57年10月 社会教育学会 第29回日本社会教育学会大会
- 「高等小学校研究(1)―1930年代の青年教育体制と高等小学」昭和56年8月 東京都立大学 第40回日本教育学会大会
- 「自己教育の系譜(その1)―戦後自己教育論の構造と系譜」(共同) 昭和55年9月 社会教育学会 第27回日本社会教育学会大会
- 「大正期の社会教育としての青年教育」(単) 昭和53年10月 名古屋大学 第25回日本社会教育学会大会

#### 【科研費(単独)】

- 『学校外教育』における学習内容と指導方法に関する研究 奨励研究A60万円 平成1年4月～平成2年3月文部省科学研究補助金研究
- 「子どもの人間関係・生活技能の形成と学校外教育に関する実証的研究」奨励研究A80万円 昭和62年4月～昭和63年3月 文部省科学研究補助金研究

#### 【その他雑誌掲載論文】

- 部活動における地域・外部人材等との連携・協力のあり方 平成21年6月 教育開発研究所 教職研修6月(2009)104-107(4ページ)
- 「自由時間と野外教育の創造―1 日本の野外教育はいま―文部省野外教育調査研究協力者会議答申を中心に」平成14年6月 明治図書 解放教育 No.414, pp.75-82(8ページ)
- 「今後の議論のために一部活動と総合型地域スポーツクラブを考える―5」(対談) 平成14年4月ブックハウス・エイチディ 月刊トレーニングジャーナル No.270 pp.57-61(5ページ)
- 「総合型地域スポーツクラブへの段階的移行―一部活動と総合型地域スポーツクラブを考える―4」(対談) 平成14年3月 ブックハウス・エイチディ 月刊トレーニングジャーナル No.269 pp.66-70(5ページ)
- 「新しい時代のスポーツ, 部活動, クラブ―一部活動と総合型地域スポーツクラブを考える―3」



- (対談) 平成14年2年月 ブックハウス・エイチディ 月刊トレーニングジャーナル No.268 pp.61-65 (5ページ)
- 「完全学校五日制を学校, 地域づくり, 文化づくりのチャンスととらえる—PTA 活動と部活動改革の事例を通して」平成14年2月 アドバンテージサーバー 『教育評論』2002, 2月号 通巻658号 pp.15-18 (4ページ)
- 「学校から地域へ一部活動と総合型地域スポーツクラブを考える—2」(対談) 平成14年1月 ブックハウス・エイチディ 月刊トレーニングジャーナル No.267 pp.61-64 (4ページ)
- 「学校五日制のスタートの影響—連載, 部活動と総合型地域スポーツクラブを考える—1」(対談) 平成13年12月 ブックハウス・エイチディ 月刊トレーニングジャーナル No.266 pp.30-33 (4ページ)
- 「文化としてのスポーツと楽しむスポーツをどう育てるか」平成13年10月 日本労働組合連合会 『第5回連合国体フォーラム 記録』 pp.29-44 (15ページ)
- 「今求められる『余暇』体験とは—夏期休暇をどう楽しみ, 生活をゆたかにするか」平成13年7月 明治図書『解放教育』2001年8月号 No.404 pp.8-17 (10ページ)
- 「夏期長期休暇, それは多様な体験の絶好のチャンス」平成12年7月 明治図書『解放教育』2000年7月号 No.391 pp.8-18 (11ページ)
- 「子どもの『ゆとり』を確保するために学校外活動との連携をどう図っていくか」平成9年2月 教育開発研究所『教職研修』97年2月 通巻294号 pp.70-73 (4ページ)
- 「学校外活動と地域活動—中教審『審議まとめ』徹底分析」平成8年8月 アドバンテージサーバー 『教育評論』1996, 8月号 通巻591号 pp.20-23 (4ページ)
- 「家庭や地域社会の教育機能の充実・改善に, 学校はどう働きかけていくか」平成7年8月 教育開発研究所『教職研修』95年8月 通巻276号 pp.74-77 (4ページ)
- 「地域におけるボランティア等人材の発掘はすすめられているか—ボランティア活動の課題」平成5年3月 教育開発研究所『教職研修』93年3月 通巻247号 pp.76-77 (2ページ)
- 「学校教育と社会教育のあり方—受け皿づくりと新たなライフスタイル」平成4年2月 教育開発研究所『教職研修』92年2月号 通巻234号 pp.77-80 (4ページ)
- 「学校5日制と学校行事のあり方」平成4年2月 アドバンテージサーバー 『教育評論』92年2月号 pp.14-21 (8ページ)
- 『レジャー・レクリエーション基礎文献解題集(第1集)—余暇・遊び論を中心に100選—』平成3年12月 日本レクリエーション協会 57, 87, pp.90-92 (5ページ)
- 「学校五日制と生涯学習社会のあり方」平成3年6月 私学経営研究会『私学経営』No.196 6月号 pp.52-59 (8ページ)
- 「学校五日制と学校外教育」平成3年6月 小学館『総合教育技術』6月号 pp.82-86 (5ページ)
- 「学校5日制と青少年の社会教育のあり方」平成3年2月 学事出版『月刊 高校教育』2月

号 pp.32-40 (9 ページ)

「学校5日制と学校教育のあり方」平成2年9月7日 時事通信『内外教育』pp.6-7

**【その他・掲載新聞】**

「学校5日制導入に過半数が賛成意見」平成2年8月26日『静岡新聞』静岡新聞，朝刊地方版

「学校5日制，過半数が賛成」平成2年8月25日『朝日新聞』朝日新聞夕刊

「孤立型遊びで人間関係阻害」昭和63年9月10日『日本教育新聞』日本教育新聞

「子どもの遊びの実態」昭和63年8月17日『静岡新聞』『中日新聞』

『毎日新聞』各紙地方版朝刊